

一般部参考手本

十一月

（実用部）

天高く気澄む夕暮に
独り風吹く野に立てば
天外の富士近く
国境をぐる連山地平線に思ふ
氏名

（鑑賞部）

嵐くまの山の山

もろくさ葉は

龍田の川 錦なりけり
龍田は錦なりけり

嵐ふく三室の山のもみぢは

龍田の川のにしきなりけり

（臨書部）

龍田は錦なりけり

過此法期枝雪
過此法期枝雪

迫以法線暫斷談／坡。過此法期披雲。

学生部参考手本

十二月



（小五）

遠い山からふいてくる
小寒い風にゆれながら
けだかく清い
野ぎくの花
小五名前

（小二）

よくたべて
かぜにまけない
元気なからだ
小二名前

（中学）（入門）

人生においては
何事も偶然である
しやまた人生においては
何事も必然である
中学一年名前

（小四）

朝はひえたしすけさ
つめたい風が
心地よく
冬はもうすぐ
小四名前

（小二）

日よう日
あさはやくから
おてつたい
小二名まえ

（小六）

谷の流れに散るもみじ
波にゆられはなれて寄って
赤や黄色の色さまさまに
水の上にも織るにしき
小六名前

（小三）

とおりゃんせ
ここはこの細道じゃ
天神さまの細道じゃ
小三名前

（幼児）

ちとせあめ
ようなまえ

